

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	私立 慶風高等学校	田原 サヨ子
学校所在地		
〒 640 - 1363 tel 073 ( 498 ) 0100 fax 073 ( 474 ) 5156 e-mail info@keifu.ac.jp		
担当者名		役職名・担当教科
裕 和也		教諭・特別活動担当
<b>〔学校の概要〕</b> 平成17年4月開校した私立通信制高校です。平成28年8月1日現在の生徒数153名で、今回参加する生徒は、週5日登校型とスポーツ中心型のコースに在籍している生徒です。「愛情を持って根気よく」を指導理念のものの、教員と生徒相互の温かい人間関係を通じ、生徒一人ひとりの能力・適性を考慮し、自分の希望進路に向かって努力する生徒を育成しています。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年1・2・3年生 45名	5名 職員 3名	一の橋～弘法大師御廟
実践研究テーマ		
世界遺産としての高野山を知り、その素晴らしさを体感する。		
実践教科等名	単元名	
学校設定科目「高野山への道」	高野山について知り、体感しよう。	
<b>〔キーワード〕</b> 世界遺産学習 郷土学習 体験学習		
<b>〔単元目標〕</b> (1) 高野山の歴史や高野山への道を調べ、先人の偉業を学ぶ。 (2) 世界遺産についての知識を深める。 (3) 県世界遺産マスターの説明を聞きながら、高野山の奥深さを体感する。（現地学習）		
<b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b> 全体 20時間 （「世界遺産」講話 1時間 ）		
<b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b> 和歌山県世界遺産センター・・・「世界遺産講座」 次世代育成事業・・・現地学習		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	授業 ・「和歌山県の歴史」を読み、高野山について調べる。 ・空海について調べる。	・高野山の歴史を調べると同時に、平安時代の宗教が21世紀まで続いて存続している理由を考えさせ、レポートにまとめさせる。	・高野山や空海について理解できたか。
2	授業 ・世界遺産として高野山と高野山町石道について調べる。 ・高野山参詣道について調べる。	・資料を配布する。 ・町石道と他の参詣道も調べ、レポートにまとめさせる。	・世界遺産としての高野山への視点をもつことができたか。
3	授業 ・高野西街道について調べる。	・資料を配布する。 ・レポートにまとめる。	・歴史遺産が身近にあることに気付いたか。
4	DVD鑑賞 ・NHK「空海 ～歴史ヒストリア」	・空海の間像を端的に理解できる。	・ワークシート
5	10月6日（木）次世代育成事業 ・「世界遺産にチャレンジ」 ・一の橋～弘法大師御廟までを、解説を聞きながら歩く。	・「世界遺産センター」の職員の方に講和をしていただく。 ・県世界遺産マスターの方に、詳しい説明をしていただきながら歩く。	・感想文
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果 学習内容を書物や資料を通して知るだけでなく、実際に「歩く」という行為を通じて、その「場」に身をおくという経験をすることで知識を体得できた。</p> <p>課題 今後、このような知識と体験ができるような機会を、年間指導計画に入れていくことを考える必要がある。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
「一の橋」から「弘法大師御廟」までを歩く体験学習は、「歴史」と「宗教の荘厳さ」を感じられることができた。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
世界遺産学習とは、人類の歴史を学ぶことに他ならないが、先人たちが築いた遺産を未来へ残すためには、自分たちがどのように何をすべきかという未来への視点をもつことができるようにしたい。			

## 様式 2

平成28年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

平成28年10月6日 現地学習

生徒感想文（抜粋）

- ・世界遺産のことについての講義では、世界遺産には、文化遺産と自然遺産と複合遺産があり、「紀伊山地の霊場と参詣道」が文化遺産であることを知りました。昼食後、一の橋から弘法大師御廟まで歩き、すごく神秘的だと思いました。
- ・標高800メートルの山の中に町があることに驚きました。
- ・高野山を歩いていると、外国人の観光客をたくさん見かけました。世界遺産マスターの方にいろいろ説明していただき、一つ一つの物に価値があることがわかり、興味がわきました。
- ・世界遺産マスターは、ものすごくかっこよかったです。説明がとてもわかりやすく、とても勉強になりました。
- ・墓石の多くがコケで覆われていて、歴史の深さを感じました。大きな墓がたくさんあり、昔の技術の高さに驚きました。
- ・自分が知っている戦国武将の墓がたくさんあって、びっくりしました。新しいお墓には、ロケットの形をしたものや、ヤクルトの形をしたものがあることがあって、おもしろかったです。
- ・高野山に初めて訪れて、その雰囲気圧倒された。数々の戦国武将の墓が同じ場所に集まっているというのが不思議だ。他の世界遺産も訪れてみたいと思った。
- ・一番大きな墓石である「お江」の墓は、迫力があって圧倒されました。しかし、「織田信長」の墓は案外小さくて、見つかりにくい場所にあって、面白いなと思いました。高野山は、静かできれいで、和歌山とは思えない所でした。地元の和歌山を知ることができて、とても良い経験でした。

